

先輩インターンの活躍について

派遣年度	2014	インターン番号	TA2003	タイプ	提案型
派遣国	ベトナム社会主義共和国		派遣都市	ホーチミン	
受入機関	Jesco Asia Joint Stock Company				
受入機関概要 (事業内容等)	設立2001年 日系企業 社員数約150人(内日本人5名) ODA案件等のインフラ工事を始めとした総合設備工事業。				
派遣期間	2014年12月2日 ~ 2015年2月14日				
現在の所属先	ヤマト電機(株)	当時の所属先	同左		
現在の所属部署	海外・事業開発営業部ベトナム開発担当	所在地	東京都		
区分	中堅企業	性別	男性		

1. インターンシップに参加されたきっかけや動機についてお聞かせください。

ベトナム進出の可能性を検討するため、インターンシップに参加して現地でビジネスチャンスを発見してきてくれないかと上司から話があり、応募することになりました。もしビジネスチャンスを発見できれば、早期に駐在員事務所あるいは会社設立を行い、あなたを現地責任者に抜擢すると言われ、なんとか勝機を見出したいという思いを抱えながらインターンシップに参加しました。

2. インターンシップではどのようなことをされましたか。

受入機関ではプラントエンジニアリング部門に配属され、そこで受入機関のエンジニアとのコミュニケーションの取り方や、業務内容や指導風景を体験しました。それから受入機関の協力を得て現地電設資材メーカー及び日系メーカーを多数訪問させていただきました。また、使用資材の種類や管理方法を把握するため複数の建設現場を実際に視察することもできました。

3. インターンシップに参加して達成できたこと、参加して良かったことは何でしょうか。

受入機関でのインターンシップを通じてベトナム人従業員との連携、指導方法、雇用問題を理解できました。また、インターンという立場で、かなりの数の現地電設資材メーカーや日系メーカーの方々とお会いし、商習慣や抱えている問題についていろいろお話を伺えたことがとても勉強になりました。建設現場の訪問では、使用資材の種類や管理方法の日本との違いを見極められ、その中からビジネスチャンスを発見することができました。

私がこのインターンシップに参加して、とても良かったと思うのは、各社の現場を実際に訪問して現地ビジネスに関係する人脈を幅広く構築できたことです。また、一緒に派遣されたインターンには、異業種、同業種の方がたくさんいてとても刺激になりました。今でもつながりがありいろいろな形でコンタクトを取っています。また、インターンシップに参加することで、コミュニケーション力や折衝力、柔軟性、行動力が身につきました。駐在員としての資質向上につながったと感謝しています。

インターンシップ風景



現場安全パトロール時のミーティング風景（建設現場事務所内）



TNH（スチールラックメーカー）工場見学風景 ホーチミン郊外

4 インターンシップの経験は、その後どう活きましたか。具体的なエピソードを交えて教えてください。

私が働いているヤマト電機株式会社は、電設資材、電子機器、環境関連機器の卸販売をしている会社です。インターンシップに参加するまでは、特需営業所の所長としてエンドユーザーに対して「省エネ」を始めとした提案営業を行ったり、営業所の業績管理や所員の指導育成を行って来ました。

帰国後、インターンシップの調査報告書や活動内容が評価され、海外・事業開発営業部ベトナム開発担当のマネージャーに異動しました。インターンシップをきっかけに始まったベトナム進出計画が本格化し、設立予定の現地法人の社長として早ければ11月から駐在する予定です。

インターンシップで持ち帰った情報は、実際に現地で走り回りながら収集した生きた情報であるため、会社では非常に重宝して貰えました。特に現地人と日本人との労働に対する考え方のギャップについてある程度理解する事ができたため、設立予定の現地法人において現地人を雇用して行く上で、起こりうる雇用問題に対して間違い無く役に立つと思いました。また、インターンシップの経験を通じて日本人を客観的に見る事ができる様になった事も自分にとっては収穫でした。

インターンシップが終了してからも、同期生とは情報交換や意見交換を未だに行っており、異業種の方の知識や意見が必要となった時にとても役に立っています。例えば、現地法人開設に関して言うと、その際のコンサルティング会社は、インターン同期生に紹介してもらいました。その他、ジェットロに就職した同期生とその上司を訪ねて話を伺いに訪問したり、今年度派遣されるインターン生の方と11月にベトナムで仕事でお会いする約束もあり、このインターンシップ事業を通じて得た人間関係がどんどん広がっている実感があります。

5. 最後に、インターンシップへの参加を検討している人たちへメッセージをお願いします。

参加される側の目標観次第とは思いますが、旅行や留学では体験する事のできない沢山の体験や発見があると思います。HIDAの方々を始めとしたフォロー体制も出国前から滞在中、帰国後まで万全となっているため、お勧めできると思います。

現在の活躍の様子



ベトナム新事務所となる物件探し中の風景